

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2024-07-01 No. 165

株式会社 コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

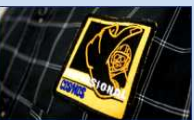
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全 目次

| | |
|---|----|
| エグゼクティブサマリー Executive Summary | 2 |
| IEC: 規格解説: ISO 10605 第 3 版 2023-06 道路車両 — 静電気放電による電気妨害の試験(3/3) | 3 |
| IEC: 新規格リスト | 6 |
| ISO: 新規格リスト | 9 |
| UNECE: 国連の新たな規制により、電気バン用バッテリーの耐久性が保証される | 10 |
| UNECE: 第 192 回車両規制調和世界フォーラムの報告書(2/3) | 11 |
| 国際テーマ: IEC: 2023 年 CB スキーム統計: 94 の国内認証機関(NCB)と 592 の CB 試験所 | 13 |
| 国際テーマ: 米国、サイバーセキュリティのラベリングプログラムが発足 | 14 |
| 国際テーマ: 中国で盛況だったサイバーセキュリティ合同セミナー | 14 |
| 国際テーマ: インドの電気通信機器の試験と認証手続きの新版が公開された | 15 |
| 国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲 | 16 |
| USA: FCC: 機器認可プログラムから国家安全保障懸念団体の排除を提案 | 17 |
| USA: FCC: KDB: Part 25: トランシーバーの SCS に関する機器認可ガイダンス文書発行 | 18 |
| USA: FCC: C-V2X 運用における車載ユニットの出力制限についてコメントを募集 | 19 |
| USA: DOE: 米国エネルギー省、無停電電源装置の試験手順に関する最終規則を公布 | 19 |
| USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知 | 20 |
| USA: ANSI/UL: 新規格リスト | 21 |
| USA: IEEE: 新規格リスト | 22 |
| カナダ: ISED 無線標準仕様 RSS-222 第 4 版 - ホワイトスペース機器 (WSD): 意見募集 | 23 |
| EU: 規制されていない証明書、又は自主証明書についての警告 | 25 |
| EU: ネットゼロ産業法により EU はクリーンテクノロジー製造とグリーンジョブの本拠地に | 25 |
| UK: UKCA マーキング関連のガイダンス 4 件が更新: CE マーキングの受入終了日が削除等 | 26 |
| EU: CENELEC: 新規格リスト | 27 |
| EU: ETSI: 新規格リスト | 29 |
| オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト | 29 |
| ニュージーランド: 「輸入建築物内の低電圧電気設備の電気的安全性」クイックガイドが発行 | 30 |
| 中国: SAMR: サーバなど 147 種類の製品の品質監督抜取検査実施細則を発表 | 31 |
| 中国: SAMR: 上述記事の内、プリンタの製品品質監督抜取検査実施細則(2024 年版)を紹介 | 31 |
| 中国: CQC: 電気温水洗浄便座の強制性製品認証: CQC-C0701-2024 により実施 | 32 |
| 中国: CQC: 可燃性冷媒エアコンに使用される部品の安全認証業務の開始に関する通知 | 33 |
| 中国: CQC: モーター・コンプレッサ用絶縁システムの適合性認証業務開始に関する通知 | 33 |
| 中国: CQC: 電線・ケーブル製品のデジタル化による認証業務の開始に関する通知 | 34 |
| 中国: CQC: 快適機能付き省エネルギーエアコンの人間工学 証業務開始に関する通知 | 34 |
| 中国: 新規格リスト | 35 |
| 台湾: BSMI: 預告「検査対象の電気自動車用充電設備商品の関連検査規定」草案 | 36 |
| 台湾: BSMI: 「検査対象のモーター商品の関連検査規定」改正案 | 37 |
| 台湾: 新規格リスト | 37 |
| 韓国: RRA: 情報通信分野 国家標準制・改正及び廃止予告 (意見聴取) 実施通知 | 38 |
| 韓国: RRA: 放送通信標準制定予告: 量子鍵分配ネットワークの概要: 発行予告 | 38 |
| 韓国: KATS: 「子ども製品安全管理制度運用要領」改正案行政予告 公告第 2024-119 号 | 39 |
| 韓国: KATS: 安全基準遵守対象生活用品の安全基準附属書 26 (無始動ヒーター) 制定 (案) | 40 |
| 韓国: KS 新規格リスト | 41 |
| 総務省: 令和 5 年度無線設備試買テスト最終報告の公表 | 42 |
| 総務省: 6.7 MHz 帯を用いた電界結合型ワイヤレス電力伝送システムに関する技術的条件答申 | 42 |
| 総務省: 「V-High 帯域における公共ブロードバンド移動通信等に関する技術的条件」の諮問 | 43 |
| 経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正について | 44 |
| 経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2024 年 6 月分) | 45 |
| 国土交通省: 大型車に事故時の車両情報の計測・記録装置が搭載される | 46 |
| ちょっといっぶん〜小クイズコーナー ニュージーランドで販売される家庭用機器への規制 | 16 |
| コスモス・コーポレイション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内 | 24 |
| 社長の独り言 | 47 |



UNECE: 国連の新たな規制により、電気バン用バッテリーの耐久性が保証される

- UNECE の公害とエネルギー作業部会（GRPE）が本日合意した提案により、電気バンに搭載されるバッテリーは高品質で長年にわたる耐久性が要求される。これは、2022年3月の世界フォーラムによる電動小型車両のバッテリー耐久性に関する最低限の性能要件を規定する国連一般技術規制第22号の採択と、今回の電気バンへのその拡張に基づいている。

UNECE: 第192回車両規制調和世界フォーラムの報告書(2/3)

- A. 車両規制調和世界フォーラム (WP.29)
- IV. 作業の調整と組織化
- C. インテリジェント交通システムおよび自動運転車両関連活動の調整
 - 14. GRVA 議長は、GRVA の下での自動運転システム ADS (Automated Driving System) に関する規制策定のための最近の取り決めに反映した、自動運転車両に関するフレームワーク文書の表1の修正案を提示した。
 - 23. GRVA 議長は、道路車両における人工知能 (AI) に関するガイダンスを含む決議案の提案を提示した。
- V. WP.29 の下部作業部会 (GR) の報告書の検討
- E. 最近の会合のハイライト, 3. 自動運転およびコネクテッドカーに関する作業部会 (GRVA)
 - 66. WP.29 は、ドライバー制御支援システム (DCAS) に関する新しい国連規制草案を提出したことを歓迎した。
 - 68. オーストラリア代表は、GRVA が国連規制第155号(サイバーセキュリティおよびサイバーセキュリティ管理システム)、及び国連規制第156号(ソフトウェア更新およびソフトウェア更新管理システム) の修正案は、すべてのカテゴリ L 車両をその規制の範囲に含めることに留意した。

USA: FCC: 機器認可プログラムから国家安全保障懸念団体の排除を提案

- 米国連邦通信委員会(FCC)は本日、国家安全保障上の懸念をもたらすことが判明した団体によってワイヤレス機器の認可が侵害されないようにするための新しい規則を提案した。
- FCC の対象リストに掲載されている団体が機器認可プログラムにおいて、いかなる役割も果たすことを永久に禁止する。

USA: FCC: KDB: Part 25: トランシーバーの SCS に関する機器認可ガイダンス文書発行

- パート25のトランシーバーの機器認可ガイダンス文書が初めて発行された。
- 衛星による補足サービス区域 Supplemental Coverage from Space (SCS) (地上携帯網の欠落部を衛星で補うシステム) についての手引きが述べられている

中国: SAMR: サーバなど147種類の製品の品質監督抜取検査実施細則を発表

- 各地の市場監督管理部門は、製品品質監督抜取検査を実施する際に直接採用することができる。以前に公布された同種製品の国家監督抜取検査実施細則は、同時に廃止する。

総務省: 6.7 MHz 帯を用いた電界結合型ワイヤレス電力伝送システムに関する技術的条件答申

- 近年、工場や物流拠点においてロボットの導入が進んでおり、当該ロボットへの給電方法としてワイヤレス電力伝送システムの導入が期待されている。

経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての一部改正について

2024-5-1号にてお伝えした改正予告内容が、本決定した。改正施行日が、確定し、令和6年6月1日予定となった。改正する規格の数：69規格。

Summary

ISO 10605 Ed.3 2023-06 道路車両 — 静電気放電による電気妨害の試験方法が、2023-06 付けで、発行された。本規格の主要内容及び前版からの主な変更点を解説する。

さまざまな業界で一般的に使用されている、人間の静電気放電をシミュレートする試験が、自動車環境に完全には適用できないことが判明した。そのため、自動車環境に合わせた試験が、開発された。本文書は、車載電子モジュールと車両の両者に適用できる ESD 試験について説明する。

本文書は、車両での使用を目的とした電子モジュールを評価するために必要な静電気放電 (ESD) 試験方法を次の三項により、規定する。

- 第 8 節 部品へのイミュニティ試験方法 (通電試験)、
- 第 9 節 部品の梱包および取扱いの試験方法 (無通電試験)、及び、
- 第 10 節 車両試験方法(車両を動作させた状態での試験)。

本文書では、ベンチ上の電子モジュール、及び完成車両の両者を評価するための試験手順について説明する。

Ed.2 からの主な変更点は以下のとおり:

- コンポーネントへの直接および間接放電のためのフィールド結合板に関する代替試験セットアップの導入 (通電試験) ;
- コンポーネントへの間接放電 (通電試験) に関して最小放電数が、50 から 10 に変更された、連続する単一放電の間隔が、50 ミリ秒から 1 秒に変更された、 等々

3/3

ISO 10605 Ed.3 2023-06 道路車両 — 静電気放電による電気妨害の試験方法 Road vehicles — Test methods for electrical disturbances from electrostatic discharge

前回では以下の項目を扱いました :

| |
|---------------------------------|
| 序文 |
| 5 試験場所 |
| 6 試験装置と計装 |
| 7 放電モード |
| 8 部品へのイミュニティ試験方法 (通電試験) |
| 9 部品の梱包および取扱い(を模擬した)試験方法(無通電試験) |

本記事での「図 1 を参照」等は規格本体の図面を参照することを指します

10 車両試験方法

10.1 一般

車両の内側からのみ簡単にアクセスできるエリアでは、発生器の静電容量 330 pF と抵抗 $330\ \Omega$ または $2\text{ k}\Omega$ を選択すること。この場合、最大試験電圧は 15 kV に制限することが出来る。

車外からのみ容易に触れる箇所の静電容量は 150 pF 、抵抗は $330\ \Omega$ または $2\text{ k}\Omega$ を選択すること。この場合、最大試験電圧は 25 kV である。

DUT に放電を加える前に、付属書 A に指定されている ESD 発生器の放電検証手順が、試験所または顧客によって設定された期間内に実行されたことを検証すること。

導電性の表面は接触放電モードを使用して試験すること。接触放電の場合は、接触放電チップを使用すること (図 1 を参照)。試験計画で要求される場合は、気中放電を導電性の表面に適用することも



株式会社コスモス・コーポレイション

自動車部品の耐水試験についてのご案内

当社では自動車部品に対する耐水試験が実施可能です。

(JIS D 0203 対応)

対象試験記号: R1 / R2 / S1 / S2

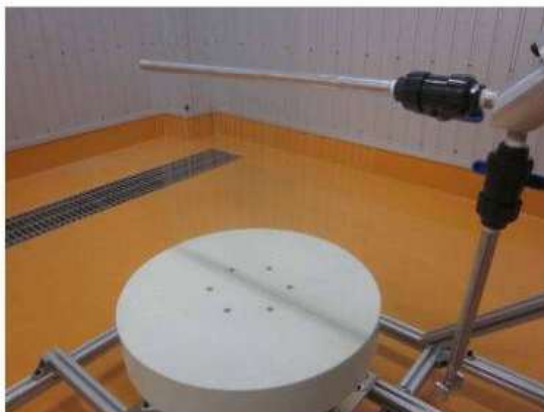
評価実施内容

| | |
|------|-----------------------------------|
| 散水試験 | R1・・・ 水滴に触れることのある部品の機能を調べる試験 |
| | R2・・・ 間接的に風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験 |
| 噴水試験 | S1・・・ 直接風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験 |
| | S2・・・ 強い受水状態について部品の機能を調べる試験 |

R1 及び R2



S1 及び S2



耐荷重: 45kg まで試験実施可能です。

許容サンプルサイズ: 実施可能サンプル寸法は規格に従い、基本的に 40cm の高さで設定していますが、それ以上の寸法であっても対応可能な場合もございますので、指定のサンプルサイズを事前にご連絡下さい。

松阪事業所 : 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1

URL : www.safetyweb.co.jp E-mail : sales@cosmos-corp.com

【お問い合わせはCS部まで -- TEL:0598-30-5225(直通), FAX:0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレイション

社長の独り言

2024年6月19日

濱口 慶一

今年は異常気象の影響でしょうか？梅雨を乗り越して一気に真夏に進んでいるような暑い日々が続いています。読者の皆様は体調を崩さずに、元気に活動されていることを祈念致します。

当社は第37期の最終月を迎えています。厳しい結果に終わりそうです。1987年の創業当時からのお客様への奉仕の精神が少し変化してきていて、その変化がお客様にとって喜ばないものではないからではと感じています。今回の結果をスプリングボードとして、これまでの経験も大切にしながら、創業時の明野事務所時代の“お客様への奉仕の精神”に今一度立ち返って取り組んでいきたいと思えます。

先月号で触れた要員の力量の維持・判定に関連して、当社で品質マニュアルの改訂計画を進めています。コスモスの社員(評価や審査・認証に関わる要員)については、ISO/IEC 17021-1: 2015 (JIS Q 17021-1: 2015)の附属書C “力量の判定及び維持のためのプロセスフローの例”を取り入れて、要員の力量判断基準の設定、選定、教育・訓練、定期的な力量の評価と再教育制度を確実に実施していきたいと思えます。そしてこのプロセスで十分な力量を確保したスタッフで、ISO/IEC 17025 準拠のシステムを運用して製品安全評価を行い、さらにその評価結果をもって、ISO/IEC 17065 準拠のシステムで認証業務を行っていく形になるようにマニュアルを改訂してまいります。

上記の ISO/IEC 17021-1: 2015 (JIS Q 17021-1: 2015)の附属書Dには、認証活動に関わる要員にとって重要な、「望ましい個人の行動」の例が、a)項から m)項に挙げられています。経営者の私を含め、全社員がこれらを規範として念頭におき、お客様に満足していただけるよう努力してまいります。上記項目から、最初の a)を下記に紹介します。

a) 倫理的である。すなわち、公正である、信用できる、誠実である、正直である、そして分別がある。

趣味の養蜂ですが、三重県内の同じ趣味の方から購入した1群が加わり、現在3群となりました。この異常気象で蜜蜂たちも苦勞しているようで、少し元気の無い状態が続いています。暑さで巣礎が解けて、落下し、蜜蜂が下敷きになり全滅することもあるので、気がかりな毎日です。

- ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

| | | |
|-------|---|-----------------|
| 国際機関 | IEC: International Electro technical Commission | 国際電気標準会議 |
| 米州 | A2LA: American Association for Laboratory Accreditation | 米国試験所認定協会 |
| | ANSI: American National Standards Institute | 米国規格協会 |
| | FCC: Federal Communications Commission | 連邦通信委員会 |
| | IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers | 米国電気電子学会 |
| | CSA: Canadian Standards Association | カナダ規格協会 |
| 欧州 | CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization | 欧州電気技術標準化委員会 |
| | ECO: European Communications Office | 欧州通信オフィス |
| | ETSI: European Telecommunications Standards Institute | 欧州電気通信標準協会 |
| | EU/EC: European Union/European Commission | 欧州連合/欧州委員会 |
| オセアニア | ACMA: Australian Communications and Media Authority | オーストラリア通信/メディア局 |
| | NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management | ニュージーランド政府 RSM |
| アジア | BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection | 台湾經濟部標準檢驗局 |
| | CNS: Chinese National Standards Online Service | 台湾中国国家規格検索システム |
| 日本 | METI: Ministry of Economy, Trade and Industry | 経済産業省 |
| | MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications | 総務省 |
| | NPB: National Printing Bureau | 独立行政法人国立印刷局 |
| | VCCI: Voluntary Control Council for Interference | 一般財団法人 VCCI 協会 |

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2024-07-01 (No. 165)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2024 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。